

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

中国地方整備局管内の港湾における 2017 年のコンテナ取扱貨物量 (速報値)

～コンテナ取扱貨物量が過去最高値を更新～

中国地方整備局管内の港湾における 2017 年のコンテナ取扱貨物量は、84.8 万個（前年比+4.2%）と 2016 年の 81.4 万個を抜き、過去最高値を更新しました。内訳は、外貿 54.6 万個（前年比+7.9%）、内貿 30.2 万個（前年比-2.0%）となりました。特に韓国航路の増便があった徳山下松港では、コンテナ取扱量が大きな伸びを示しました。

【概要】

- 外貿コンテナ取扱貨物量は、54.6 万個（前年比+7.9%）と 2007 年の 52.2 万個を抜き、過去最高値を更新しました。
- 内貿コンテナ取扱貨物量は、30.2 万個（前年比-2.0%）と昨年に比べ減少しました。また、国際フィーダー取扱貨物量^{※3}も昨年に比べ減少しました。

【調査方法、集計内容】

- 港湾管理者より提供いただいた 2017 年（1～12 月）のコンテナ取扱貨物量（速報値）を中国地方整備局で集計しました。貨物量は速報値であり今後変更する可能性があります。単位は個（20 フィート換算）です。
- 内訳として、外貿コンテナ取扱貨物量、内貿コンテナ取扱貨物量および国際フィーダーコンテナ取扱貨物量を集計しました。内貿コンテナ取扱貨物量は、国内の 2 地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量です。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は、国際コンテナ戦略港湾などで外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量です。
 - ※1 内貿コンテナ取扱貨物量には、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量を含む。
 - ※2 長さ 20 フィートのコンテナ 1 本を 1 個としてカウント（長さ 40 フィートのコンテナ 1 本を 2 個としてカウント）。TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とも言う。
 - ※3 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は港湾管理者に可能な限り調査・提供いただいた。全量を把握できていないため参考値である。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928 (直通) (平日・昼間)
クルーズ振興・港湾物流企画室長 つだ ゆきお 津田 行男 課長補佐 にはら かずのり 二原 和教

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905 (直通) (平日・昼間)
計画企画官 こんどう たくや 近藤 拓也

■ コンテナ取扱貨物量

- 中国地方整備局管内の港湾における平成29年のコンテナ取扱貨物量の速報値は84.8万TEU^{*1}であり、対前年同期比で4.2%増加しています。

(図-1、表-1参照)

※「外貿コンテナ取扱貨物量^{*2}」と「内貿コンテナ取扱貨物量^{*3}」の合計値を集計しています。(内貿コンテナ取扱量には国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{*4}も含む)

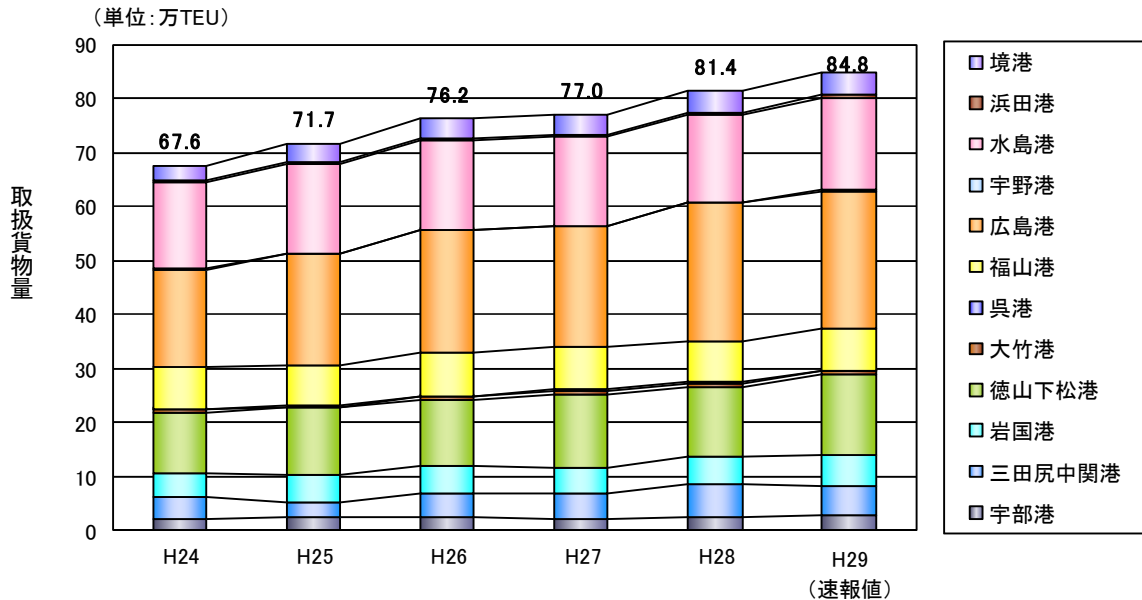


図-1 【コンテナ取扱貨物量の推移】

表-1 【コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港湾名	平成28年			平成29年 (速報値)			平成28年 からの 増減 (TEU)	平成28年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	39,082	19,414	19,668	41,619	20,992	20,627	2,537	6.5%	8.1%	4.9%
浜田港	4,249	2,113	2,136	4,216	2,105	2,111	▼33	▼0.8%	▼0.4%	▼1.2%
水島港	163,543	81,824	81,719	172,231	86,240	85,991	8,688	5.3%	5.4%	5.2%
宇野港	804	462	342	728	393	335	▼76	▼9.5%	▼14.9%	▼2.0%
広島港	257,090	128,233	128,857	255,868	127,348	128,520	▼1,222	▼0.5%	▼0.7%	▼0.3%
福山港	75,473	37,871	37,602	77,073	38,467	38,606	1,600	2.1%	1.6%	2.7%
呉港	931	443	488	842	409	433	▼89	▼9.6%	▼7.7%	▼11.3%
大竹港	7,218	4,654	2,564	6,635	5,062	1,573	▼583	▼8.1%	8.8%	▼38.7%
徳山下松港	128,485	65,211	63,274	147,789	77,571	70,218	19,304	15.0%	19.0%	11.0%
岩国港	52,756	25,960	26,796	58,014	29,103	28,911	5,258	10.0%	12.1%	7.9%
三田尻中関港	61,713	30,618	31,095	56,654	28,599	28,055	▼5,059	▼8.2%	▼6.6%	▼9.8%
宇部港	22,256	11,256	11,000	25,984	13,121	12,863	3,728	16.8%	16.6%	16.9%
合計	813,600	408,059	405,541	847,653	429,410	418,243	34,053	4.2%	5.2%	3.1%

■ 外貿コンテナ取扱貨物量^{※2}

・中国地方整備局管内の港湾における平成29年の外貿コンテナ取扱貨物量の速報値は54.6万TEUであり、対前年同期比で7.9%増加しています。〔輸出：9.8%増加、輸入：5.7%増加〕
(図-2、表-2参照)

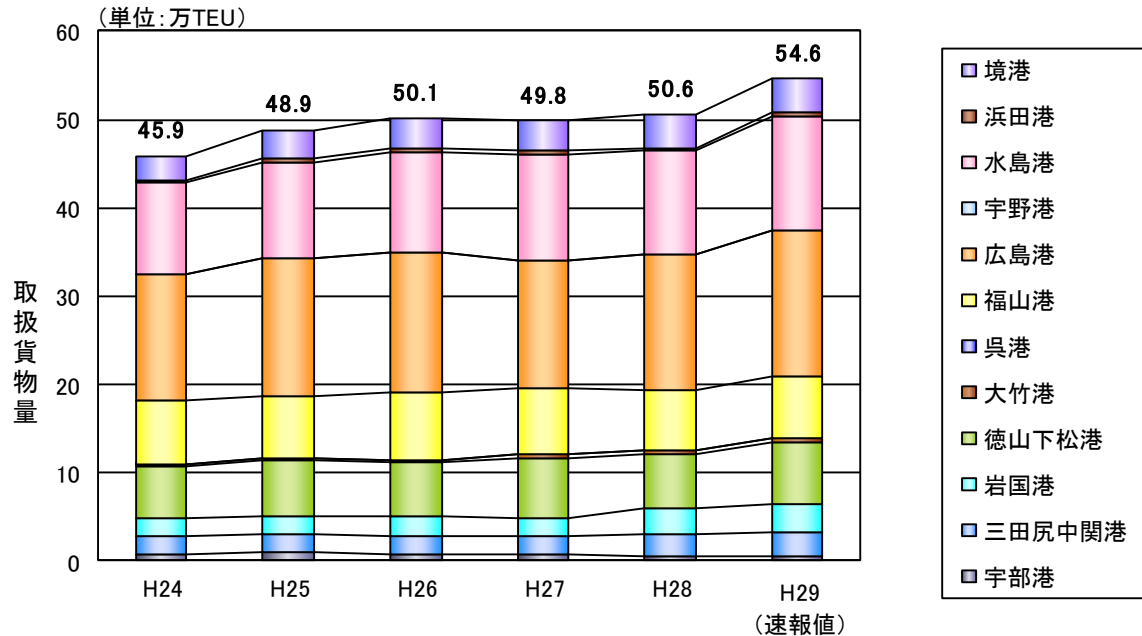


図-2 【外貿コンテナ取扱貨物量の推移】

表-2 【外貿コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港湾名	平成28年			平成29年 (速報値)			平成28年からの増減 (TEU)	平成28年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	37,156	19,403	17,753	38,503	20,972	17,531	1,347	3.6%	8.1%	▼1.3%
浜田港	4,154	2,018	2,136	4,151	2,085	2,066	▼3	▼0.1%	3.3%	▼3.3%
水島港	117,445	62,397	55,048	129,616	68,339	61,277	12,171	10.4%	9.5%	11.3%
宇野港	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
広島港	152,779	76,637	76,142	164,917	85,183	79,734	12,138	7.9%	11.2%	4.7%
福山港	68,884	32,662	36,222	70,516	33,285	37,231	1,632	2.4%	1.9%	2.8%
呉港	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
大竹港	3,901	1,870	2,031	3,539	2,285	1,254	▼362	▼9.3%	22.2%	▼38.3%
徳山下松港	62,601	41,227	21,374	71,216	48,559	22,657	8,615	13.8%	17.8%	6.0%
岩国港	27,779	17,495	10,284	32,089	20,626	11,463	4,310	15.5%	17.9%	11.5%
三田尻中関港	25,768	15,719	10,049	26,164	14,910	11,254	396	1.5%	▼5.1%	12.0%
宇部港	5,094	2,563	2,531	4,915	2,431	2,484	▼179	▼3.5%	▼5.2%	▼1.9%
合計	505,561	271,991	233,570	545,626	298,675	246,951	40,065	7.9%	9.8%	5.7%

■ 内貿コンテナ取扱貨物量^{※3}

・中国地方整備局管内の港湾における平成29年の内貿コンテナ取扱貨物量の速報値は30.2万TEUであり、対前年同期比で2.0%減少しています。〔移出：3.9%減少、移入：0.4%減少〕
 (図-3、表-3参照)

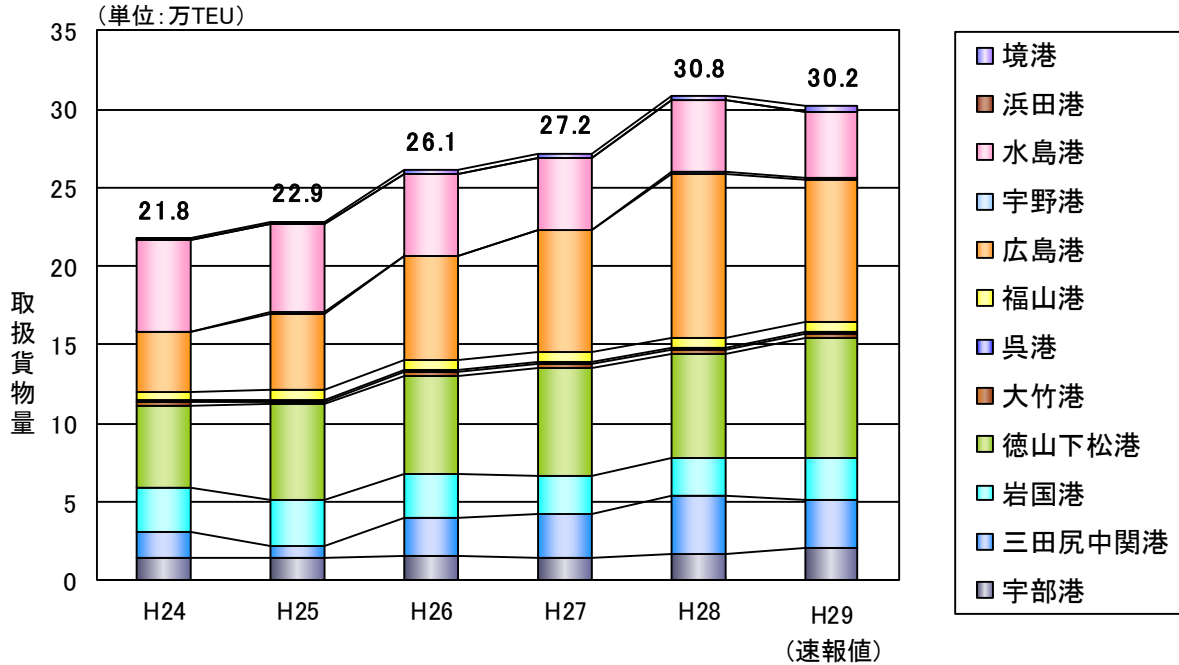


図-3 【内貿コンテナ取扱貨物量の推移】

表-3 【内貿コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港湾名	平成28年			平成29年 (速報値)			平成28年からの増減 (TEU)	平成28年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	1,926	11	1,915	3,116	20	3,096	1,190	61.8%	81.8%	61.7%
浜田港	95	95	0	65	20	45	▼30	▼31.6%	▼78.9%	#DIV/0!
水島港	46,098	19,427	26,671	42,615	17,901	24,714	▼3,483	▼7.6%	▼7.9%	▼7.3%
宇野港	804	462	342	728	393	335	▼76	▼9.5%	▼14.9%	▼2.0%
広島港	104,311	51,596	52,715	90,951	42,165	48,786	▼13,360	▼12.8%	▼18.3%	▼7.5%
福山港	6,589	5,209	1,380	6,557	5,182	1,375	▼32	▼0.5%	▼0.5%	▼0.4%
呉港	931	443	488	842	409	433	▼89	▼9.6%	▼7.7%	▼11.3%
大竹港	3,317	2,784	533	3,096	2,777	319	▼221	▼6.7%	▼0.3%	▼40.2%
徳山下松港	65,884	23,984	41,900	76,573	29,012	47,561	10,689	16.2%	21.0%	13.5%
岩国港	24,977	8,465	16,512	25,925	8,477	17,448	948	3.8%	0.1%	5.7%
三田尻中関港	35,945	14,899	21,046	30,490	13,689	16,801	▼5,455	▼15.2%	▼8.1%	▼20.2%
宇部港	17,162	8,693	8,469	21,069	10,690	10,379	3,907	22.8%	23.0%	22.6%
合計	308,039	136,068	171,971	302,027	130,735	171,292	▼6,012	▼2.0%	▼3.9%	▼0.4%

コンテナ貨物に関する主なトピックス（平成29年1月から平成30年3月まで）

（各港湾管理者からのヒアリングを基に、中国地方整備局がとりまとめ）

【境港】 輸出混載サービス、及び韓国航路協調配船の開始

- ・平成29年3月より、山陰地区及び周辺地域の小ロットの貨物を境港から海上輸送する「輸出混載サービス」が開始されました。
- ・平成29年3月より2社の協調配船によるサービスが開始され、2隻によるウィークリー配船になりました。

【浜田港】 助成制度の拡充、臨港道路の完成

- ・平成29年4月より、輸送費用の助成制度が拡充され、東南アジア（ASEAN加盟国）だけでなく台湾向けの貨物についても、対象としました（島根県）。
- ・平成30年3月31日より、山陰道に直結する臨港道路が開通しました。

【水島港】 臨港道路の整備、ガントリークレーンの移設

- ・平成29年3月、水島地区と玉島地区を短絡する臨港道路「倉敷みなと大橋」が開通しました。
- ・平成29年3月、ガントリークレーン1基の移設が完了し、水島港国際コンテナターミナルでのガントリークレーンの配置を4基体制としました。

【広島港】 臨港道路の4車線化供用、助成制度の限度額増額、港湾運営の民営化、韓国航路が増便

- ・平成29年2月、臨港道路（広島市西区商工センター～五日市地区）が暫定2車線から4車線化供用を開始しました。
- ・平成29年4月より「コンテナ貨物広島港利用促進事業補助制度」の補助限度額を増額しました（広島県）。
- ・平成29年4月より、民営会社による港湾運営が始まりました。
- ・平成30年3月19日より、韓国航路が増便されました。（韓国航路：週9便→週10便）

【福山港】 助成制度の限度額増額

- ・平成29年4月より「コンテナ貨物福山港利用促進事業補助制度」の補助限度額を増額しました（広島県）。

【徳山下松港】 韓国航路が増便

- ・平成29年1月、2月より、韓国航路が増便されました。（韓国航路：週7便→週9便）

【三田尻中関港】 神戸航路の増便、博多航路が新たに就航、ガントリークレーンの設置

- ・平成29年6月より、神戸航路が増便されました。（神戸航路：週4便→4.25便）
- ・平成29年11月より、博多航路が就航を開始しました。（博多航路：ゼロ→週2便）
- ・平成30年3月に、2基目のガントリークレーンの整備が完了しました。
（平成30年4月より供用開始）

■ 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{※4}

- 中国地方整備局管内の港湾における平成29年の、主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は16.7万TEUであり、対前年同期比で8.8%減少しています。(図-4、表-4参照)

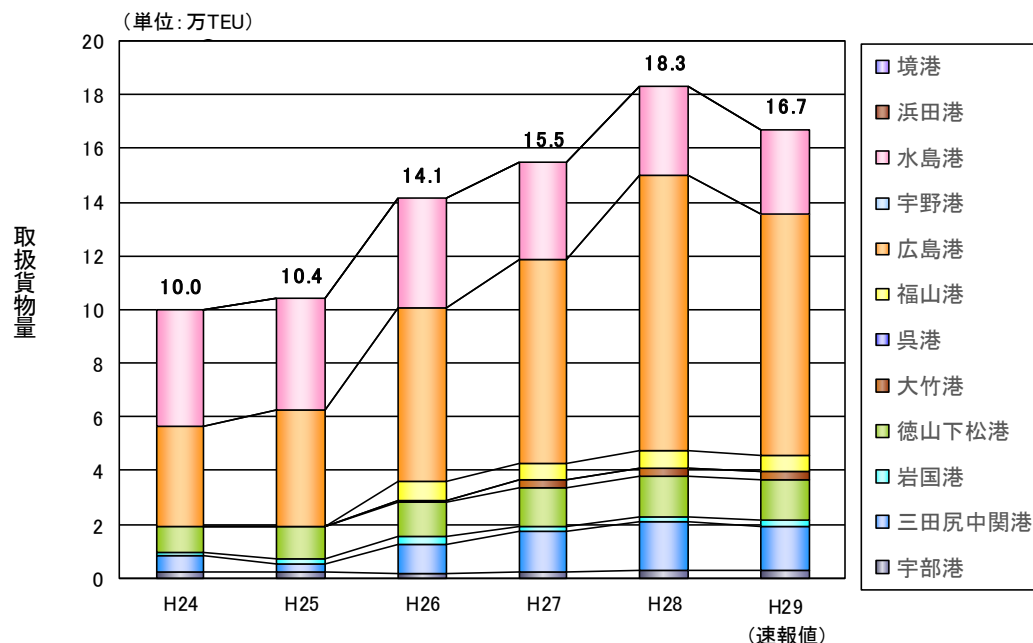


図-4 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

表-4 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港湾名	平成28年			平成29年 (速報値)			平成28年 からの増 減 (TEU)	平成28年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
浜田港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
水島港	33,468	15,370	18,098	31,311	13,753	17,558	▼2,157	▼6.4%	▼10.5%	▼3.0%
宇野港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
広島港	102,351	51,450	50,901	89,783	41,930	47,853	▼12,568	▼12.3%	▼18.5%	▼6.0%
福山港	6,589	5,209	1,380	6,557	5,182	1,375	▼32	▼0.5%	▼0.5%	▼0.4%
呉港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
大竹港	3,154	2,771	383	2,946	2,627	319	▼208	▼6.6%	▼5.2%	▼16.7%
徳山下松港	14,641	10,310	4,331	14,657	12,023	2,634	16	0.1%	16.6%	▼39.2%
岩国港	2,120	1,862	258	2,346	1,460	886	226	10.7%	▼21.6%	243.4%
三田尻中関港	18,045	13,667	4,378	16,538	12,457	4,081	▼1,507	▼8.4%	▼8.9%	▼6.8%
宇部港	2,795	2,653	142	2,940	2,681	259	145	5.2%	1.1%	82.4%
合計	183,163	103,292	79,871	167,078	92,113	74,965	▼16,085	▼8.8%	▼10.8%	▼6.1%

※1 TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とは、20 フィート (コンテナの長さ) 換算のコンテナ取扱個数の単位です。国際輸送に用いられるコンテナには主に、20 フィートコンテナ、40 フィートコンテナがあり、40 フィートコンテナ1個は2TEUと計算します。20 フィートコンテナ (長さ約 6.06m×幅約 2.44m×高さ約 2.59m) 1個の内容積は約 33m³です。

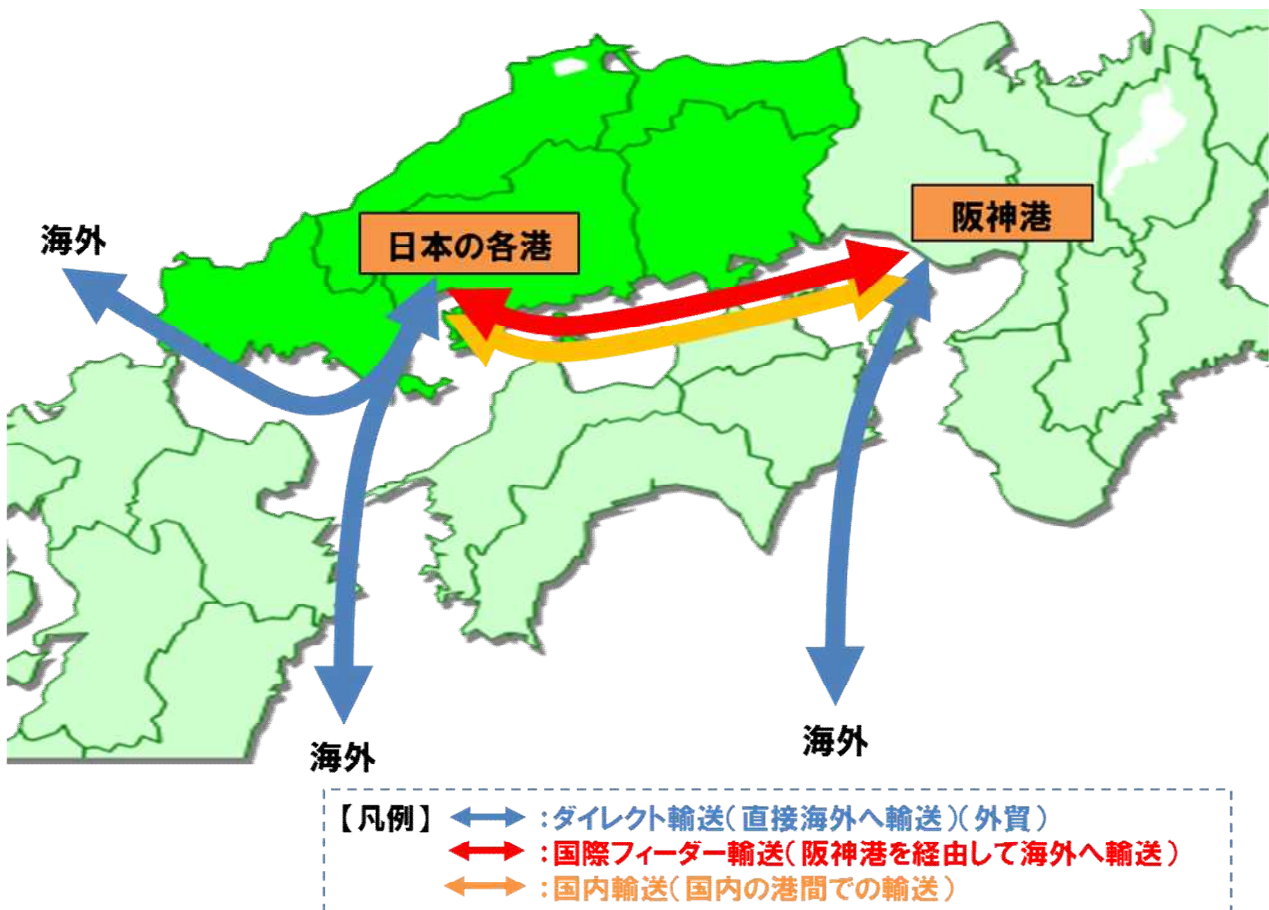


写真 港でのコンテナの取扱状況

※2 外貿コンテナ取扱貨物量とは、日本の港湾 (本報告中では中国地方整備局管内の港湾) と海外の港湾間で直接輸出入される (取り扱われる) コンテナ取扱貨物量を言います。(下図の「ダイレクト輸送」を参考)

※3 内貿コンテナ取扱貨物量とは、国内の2地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量です。内貿コンテナ取扱貨物量には、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量も含まれます。(下図の「国内輸送を参考」)

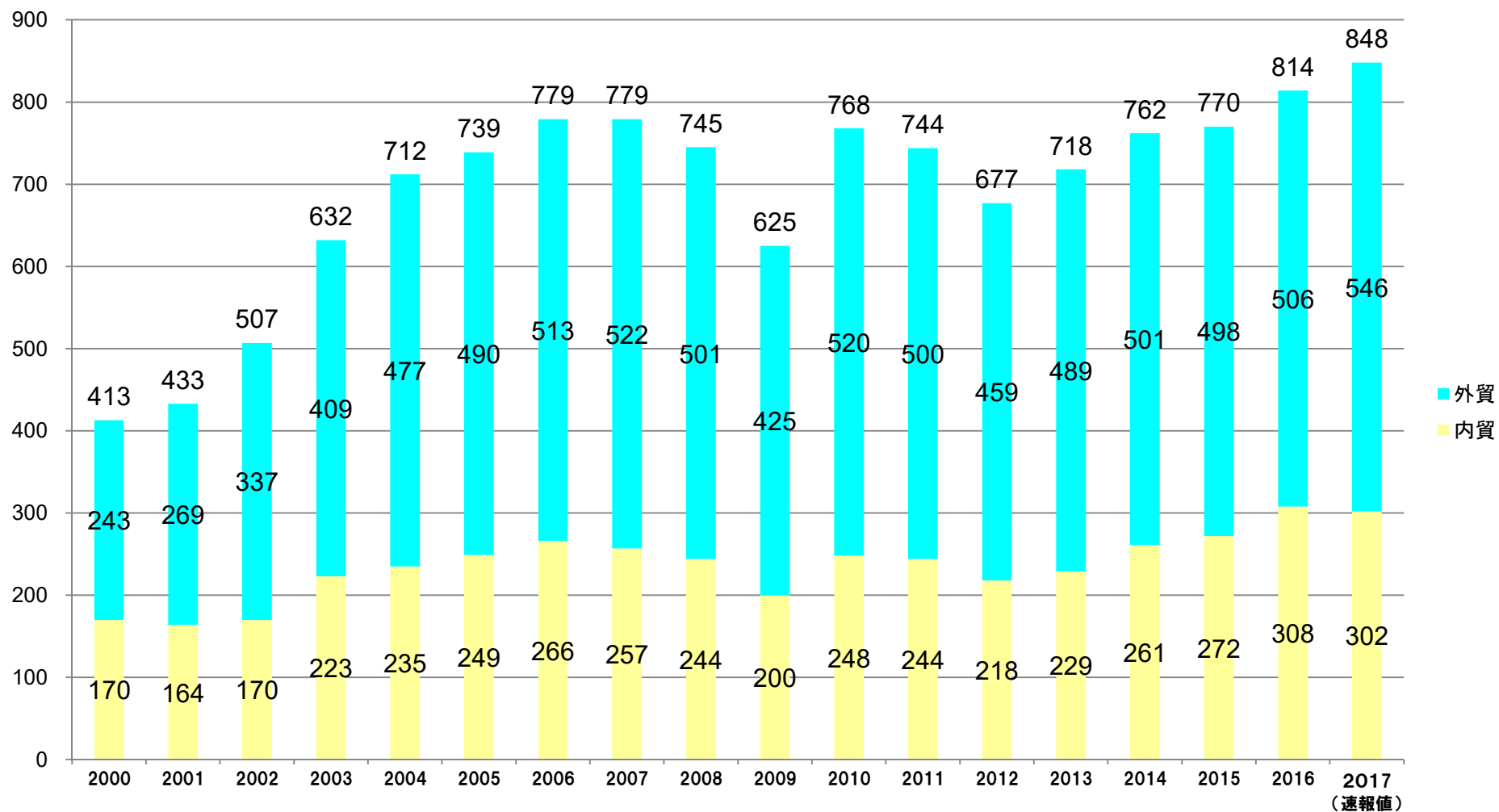
※4 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量とは、コンテナ貨物を海外へ輸出する場合、中国地方整備局管内の港と国内主要港 (阪神港、京浜港等) 間を内航船で輸送した後、国内主要港で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量を言います。コンテナ貨物を海外から輸入する場合はその逆の流れとなります。(下図の「国際フィーダー輸送」を参考)



(参考)中国地方整備局管内のコンテナ取扱貨物量推移

7

[千TEU]



出典:2000~2015年:港湾統計(年報)、2016~2017年:中国地方整備局調べ